

# 12月 定例会

# 2億1千万円の追加補正予算が

## 災害復旧に7千万円 昆布干場の施設整備も

浦河町議会12月定例会は13日に開会し、15日までの3日間開かれ、町から提案された議案10件、議会提案の意見書など4件を審議し、それぞれ原案どおり可決されました。また、11名の議員の一般質問も行われました。

### 職員の給与の改定が

提案された主な議案の一つは、役場職員の給与を改定するための条例の改正案です。国家公務員の給与改定に準

じて、地方公務員である役場職員の給与も改定するという事です。

一つは、勤勉手当（ボーナス）の改定で、年間で0・1カ月の引き上げです。夏が0・05カ月の引き上げで2・075カ月、冬も0・05カ月



▲新しい昆布干場が築地に

### 新しい昆布干場の 施設整備が

浦河地区（入船・東町・月寒）の昆布干場を施設整備することになりました。

道の補助が決まったことで事業が進むことになり、12月の補正予算で予算化されました。

場所は浦河町築地の町管理敷地内、事業主体は日高中央漁業協同組合、事業費は3828万6千円、道の補助が2分の1、道費補助残を町と漁組で負担します。共同利用予定者は、10名です。

浦河地区の昆布干場は、護岸の未整備箇所や外側にある、低気圧や台風の高潮・波浪の際に被害を受け、何度も自力で浜を修復してきましたが、昨年8月から9月の連続台風により大きな被害を受け、昆布干場の移設に至ったという事です。

浜からは距離があることから、昆布事業者21名中10名の

移転ということですが、安心して昆布採集に従事できることが最優先ということでした。

### 姉茶橋の工事が 変更されます

町道絵笛瑞穂線に係る姉茶橋の補修工事が進んでいきます。

その中で、工事の内容変更と工期の延長があり、請負契約の変更が必要となり、提案されました。

工事金額は、36万円増の8029万円となりました。4カ年にわたる工事なので、工事の進む部分と未着手の部分の接続部分をそのままの状態ですの通行を行うとしていましたが、橋の土台と

なっているコンクリート部分が劣化し、脆くなっていることから、敷鉄板をあて、路盤の強化を進めるための費用を増やすということです。安全確保に必要なことです。工期の変更は、期間を延長

の引き上げで2・225カ月に、合わせて4・2カ月から4・3カ月の改定となります。給料は平均で0・23%の引き上げで、金額にすると平均で1人当たり733円の引き上げです。若い職員には手厚くし、40歳を超えると昇給のない職員は46人いるということです。

扶養手当も一部改定され消費税の引き上げにも届かない上げ幅ですが、国の方針に準ずるということで、決定されました。

一つ目の議案は、給与改定に関わる職員の人件費の増減を含め、2億1千万円を追加する一般会計の補正予算です。

歳入の主なもの、個人町民税が1千万円の増収によるもの、国の補助金6904万円、道の補助金1710万円、基金からの繰入4576万円などです。

歳出では、昆布干場の施設整備に2628万円、まちなか元氣ステーションの設置工

事実施設計委託345万円、住宅新築リフォーム等支援補助金250万円、災害復旧費7393万円などです。職員の給与関係では、2866万円となっています。

### 地方債を補正！

各特別会計の補正予算も提案されていますが、主に給与改定に関わるもの、事業費の整理などです。

ふるさと納税を活用し、子ども達の教育環境の充実の取り組みの一つとして、全小・中学校にタブレットを配置する事業があります。

その運用に必要なLANの施設整備について、国の緊急防災事業債を利用することになり、地方債が2690万円の追加補正となりました。



▲工事進む姉茶橋

### 意見書

・町民の声を国政に、

▽地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書提出の件

▽JR北海道単独では維持困難な線区の存続を求める意見書提出の件

原案可決（全会一致）